

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立佐野台小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童

実施児童数(23 人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中位層がやや多く分布している。
平均正答率(本校 76/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて【話すこと・聞くこと】が上位層に多く分布しており、【書くこと】がやや下位層に分布している。
平均正答率(本校 57/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A	特徴がみられた設問
【書くこと】 ○手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題がある。 2二 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。 (30.4/41.5) 【読むこと】 ○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことができていない。 3 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、読むとよい段落をそれぞれ選択する。 (87.0/74.4) ○俳句の情景を捉えることができていない。 4一 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する。 (100/79.4) 4二 グループの話し合いを通して見つけた俳句の良さとして適切なものを選択する。 (78.3/57.0)	【言語に関する事項】 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができていない。 5アイ ことわざの使い方の例として適切なものを選択する。 5ア(95.7/90.0) 5イ(87.0/83.6) ○漢字を読む・書くことについてはほとんどできていない。 7(2)(82.6/80.0) 7(3)(95.7/94.5) 7(6)(95.7/94.5) ○同音異字語に課題がある。 7(1)(17.4/42.0) ○漢字によっては書くことに課題がある。 7(4)(82.6/88.8) 7(5)(65.2/76.8)

国語B	特徴がみられた設問
【話すこと・聞くこと】 ○動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す。 1一 スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する。 (91.3/77.2) ○話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える。 1二 グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く。 (87.0/77.2) ○目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。 1三 折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く。 (30.4/48.4)	【書くこと】 ○目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える。 2一 【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する。 (65.2/70.8) ○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。 2三 「水やりに協力してくれる人をほ集します」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く。 (17.4/33.0) 【読むこと】 ○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。 3一 「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する。 (82.6/75.9) ○自分の考えをを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。 3二 「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。 (21.7/28.0)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	56.5	60.5		4.0
国語の勉強は大切だと思いますか	82.6	91.2	◇	8.6
国語の授業の内容はよく分かりますか	65.2	82.2	○	17.0
読書は好きですか	78.3	74.3		4.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.0	87.9		0.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	43.5	68.0	○	24.5
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	60.8	63.4		2.6
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	60.8	74.8	○	14.0
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	73.9	77.2		3.3
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	73.9	86.6	○	12.7
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	65.2	66.1		0.9

○「国語の勉強は好きだ」と感じている児童の割合は、全国より低いですが、昨年度の割合より高くなった。
(H28 45.5)

○「授業の内容がよくわかる」と感じている児童の割合が、全国より低く、昨年度よりも低くなっていることが課題である。
(H28 81.8)

○「読書が好きだ」と感じている児童の割合が、昨年度よりも高くなり、全国と比べても高くなった。
(H28 54.6)

○「資料の活用や自分の考えを話す、書く」ことについて、全国より低く、昨年度よりも低くなっていることが課題である。
(H28 73.7)

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて中位層がやや多く分布している。

平均正答率(本校 77/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層と中位層にやや多く分布しているが、上位層と中位層の間がやや少ない。

平均正答率(本校 51/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことに課題がある。 1(2) 買ったリボンの長さと、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。(60.9/69.9) ○小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解することに課題がある。 1(3) 60×0.4 を 60×4 を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ。(82.6/91.0) ○整数の乗法の計算をすることができ、全国を大きく上回っている。 2(1) 123×52 を計算する。(100.0/85.2) ○小数と整数の加法の計算をすることができ、全国を大きく上回っている。 2(2) $10.3 + 4$ を計算する。(91.3/79.7) ○商を分数で表すことに大きな課題がある。 2(4) $5 \div 9$ の商を分数で表す。(56.5/69.2) 【量と測定】 ○高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解することに、少し課題がある。 5 示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ。(60.9/67.0)	【図形】 ○正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解できており、全国を上回っている。 6 円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。(82.6/75.5) ○立方体の面と面の位置関係が理解できており、全国を上回っている。 7 立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ。(95.7/86.7) 【数量関係】 ○資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることに大きな課題がある。 9(2) 二次元表の合計欄に入る数を書く。(52.2/62.8) 【数と計算・数量関係】 ○具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解しているが、全国と比べると課題がある。 1(1) リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く。(91.3/96.9) ○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をするときに少し課題がある。 2(3) $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。(60.9/66.6)

算数B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○示された条件を基に、適切な式を立てることができており、全国を大きく上回っている。 1(1) カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く。 (91.3/76.0) ○直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することに課題がある。正答率は40%を下回っている。 2(2) 13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く。 (21.7/27.4) 【数と計算・数量関係】 ○問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できている。 1(3) 2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く。 (47.8/38.6) 【数量関係・量と測定】 ○仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できている。正答率は40%を下回っている。 3(2) 仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。 (34.8/26.1)	【数量関係】 ○示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できており、全国を大きく上回っている。 4(1) 示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ。 (56.5/39.8) ○割合と比較するという目的に達したグラフを選ぶことができています。 4(2) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。 (39.1/29.3) ○示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断することに課題があり、全国を大きく下回っている。 5(1) 「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している。 (52.2/65.0) 【図形・数量関係】 ○身近なものに置き換えた基準値と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できており、全国を大きく上回っている。 5(2) 与えられた情報から、基準値、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。 (30.4/13.2)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	52.1	65.9	○	13.8
算数の勉強は大切だと思いますか	78.2	92.0	○	13.8
算数の授業の内容はよく分かりますか	82.6	80.6		2.0
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	65.2	75.7	○	10.5
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	73.9	81.1	◇	7.2
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	78.2	69.1	◇	9.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.6	89.1	◇	6.5
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	78.3	81.4		3.1
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	73.9	82.6	◇	8.7
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	69.5	86.0	○	16.5
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	69.6	69.9		0.3
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数 A)	75.2	87.1	○	11.9
調査問題の解答時間は十分でしたか(算数 B)	56.5	52.5		4.0

○「算数の勉強が好き」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度よりも低い。

(H28 63.6)

○「算数の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が全国と比べて高く、昨年度よりも高い。

(H28 90.9)

○「算数の授業の内容がよく分かる」と感じている児童の割合が全国と同様に 80%を超えているが、昨年度よりも低い。

(H28 81.9)

○「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が全国と比べて高い。

(H28 81.9)

○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合は 80%を超えているが、全国と比べると下回っている。

(H28 81.8)

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択(49問)で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問(11問)は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して10%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	ものごとを最後までやり遂げたり, 難しいことでも失敗を恐れず挑戦したりすることが, 全国を上回っている。(昨年度は10%以上下回っていた) 将来の夢や目標を持っている児童の割合が, 全国を上回っている。(昨年度は10%以上下回っていた) 今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が, 全国を上回っている。 新聞を読まない, ほとんど読まない児童が100%。 地域や社会の出来事に関心が低く, 新聞やメディアからの情報の入手をしない児童が全国に比べ多い。	○朝食を毎日食べている。 <82.6/95.4> ○普段1日あたり1時間以上, テレビゲームをする。 <69.49/55.5> ○携帯電話やスマートフォンをもっていない <47.8/36.7> ○家の人と将来のことについて話す。 <34.8/50.4> ○家の手伝いをしている。 <54.6/82.8> ○今住んでいる地域の行事に参加している。 <73.9/62.6> ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。 <52.2/63.9> ○新聞をほとんど, または全く読まない。 <100/78.9> ○テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。 <69.6/84.6>
【家庭学習の様子】	昨年度と同様, 家庭での学習時間が2時間以上である児童の割合が, 全国を上回っている。 一方, 家で学校の宿題や予習復習, 計画を立てて学習を勉強をしている児童の割合は, 全国を下回っている。 学校の図書室や地域の図書館を利用する児童の割合が, 昨年度に引き続き, 全国を下回っている。	○学校の授業時間以外に普段一日2時間以上勉強している。 <95.6/64.4> ○学校の授業時間以外に読書を全くしない。 <39.1/20.5> ○読書がすきではない。 <21.7/10.3> ○家で学校の宿題をしている。 <86.9/96.9>

【学校での学習の様子】	学級のみんで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある児童の割合が100%で、全国を上回っている。 5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)・最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う児童の割合は全国を下回っている。 学校の授業などでは、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う児童の割合が全国を上回っている。また、友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童の割合が全国を下回っている。 「総合的な学習の時間」では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う児童の割合が全国と比べ大きく下回っている。	○いじめはどんな理由があってもいけない。 <82.6/96.1> ○学級のみんで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 <100/87.8> ○「総合的な学習の時間」では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 <30.4/69.8> ○5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。 <52.2/64.8> ○5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。 <69.6/88.2> ○5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。 <56.5/76.2> ○5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う。 <69.5/88.7> ○5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う。 <65.2/78.5> ○学校の授業などでは、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。 <69.6/53.7> ○友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。 <52.2/68.2>
--------------------	--	---

本校の取組み

◎これまでの取組み

①学習面

◇朝の運動「UPタイム」

- ・毎朝15分間、全学年で体を動かす時間を設ける。
- ・朝から運動することにより、体力向上を目指すとともに脳が学習するための準備を整える。

◇学習規律の確立「佐野台小学校 学習のハケ条」

- ・休み時間に次の学習の用意をする ・学習しやすいように机の上を整える
- ・姿勢を正す ・起立して発表する ・相手を見て話す、聞く 等

◇学力向上の時間(昼<Eタイム>、帰りの時間 各15分間)

- ・火曜日(昼)…漢字 ・水曜日(帰り)…漢字 ・木曜日(昼)…計算

◇佐野台タイム

- ・基礎基本を中心に、年間を通して計画的に実施する。
- ・4、5、6年生に各3～4名の教師で指導にあたる。月曜6限に実施する。

◇家庭学習の徹底「家スタ」

- ・年度初めに配付する家スタの手引きを参考に家庭学習に取り組む。
- ・1年生30分、2年生40分、……、6年生80分を目標に取り組み、状況を家スタカードに毎日記入し、提出する。

◇読書

- ・図書での読み聞かせを実施する。 ・本の貸し出しの多い子を表彰し、しおりを配布する。

②生活面

◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣の調査を行い、子どもたちの朝食摂取や睡眠時間、テレビ等視聴時間を把握する。
- ・家庭との連絡を取りながら、食育や生活習慣改善の協力を求める。

◎これからの取組み

①学習面

◇朝の運動「UPタイム」

- ・引き続き取り組みを続け、授業への集中力を高められるようにする。

◇学習規律の確立

- ・学習環境を整え、学習規律の徹底を引き続き図り、落ち着いて学習に取り組ませる。

◇学力向上の時間

- ・引き続き、火曜日(昼)、水曜日(帰り)、木曜日(昼)の各15分を基礎基本の定着を図るための時間として実施する。

◇佐野台タイム

- ・引き続き、年間を通して取り組み、複数指導者での指導体制を活かして、基礎基本の定着を図る。

◇家庭学習の徹底「家スタ」

- ・家スタカードを活用して、家庭で集中して宿題に取り組むように指導を続ける。
- ・全国と比べると、家庭での学習において復習や予習に取り組む児童の割合が少ないので、自ら課題を見つけ復習や予習に取り組めるようにする。

◇読書

- ・様々な本との出会いの中で、語彙力や表現力の幅を増やしていけるように、府立図書館からの貸し出しなども利用して読書活動を充実させていく。

②生活面

◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣調査を行い、朝食の重要性を伝えていながら、朝食摂取の割合がどの学年でも高くなるように家庭と連携をとっていく。併せて睡眠時間、テレビやゲーム・携帯電話等の使用時間など生活習慣改善の協力が得られるように声かけを続ける。